

平成 27 年度 第 10 回西区自治協議会会議録

日時：平成28年1月26日（火）午後3：00～4：30

会場：西区役所健康センター棟 1 階大会議室

< 1 開会 >

< 2 議事（1）新任委員の推薦について >

（岩協会長）

それでは議事に入ります。議事の（1）新任委員の推薦についてです。事務局から説明をお願いいたします。

（事務局：堀企画係長）

西区地域課堀でございます。本年もよろしくお願いいたします。それでは事務局からご説明させていただきます。本日お配りいたしました資料、新任委員について、A 4 一枚のもの、こちらをご覧ください。この度新たに内野・五十嵐まちづくり協議会が設立されたことに伴い、同協議会から委員の推薦を受けるものでございます。内野・五十嵐まちづくり協議会は内野小学校区で活動するコミュニティ協議会として、この1月16日に設立され、自治協委員は区内すべてのコミュニティ協議会よりご就任いただきますので、同協議会からもご推薦をいただいたものでございます。委員には資料に記載のとおり、同協議会の会長を務める田村信雄様との推薦状をいただいておりますので、本日承認をいただければ、速やかに西区自治協議会として市長宛推薦を行い、選任の手続きが整えば、2月の本会で委嘱される見込みでございます。事務局からは以上でございます。

（岩協会長）

ありがとうございました。只今の説明についてご意見、ご質問等はございませんか。内野・五十嵐まちづくり協議会は1月16日に新たにできたということでございます。質問等なければ、原案のとおり市長へ推薦することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なし —

ありがとうございました。異議なしとのことですので、事務局で手続きをお願いします。

< 2 議事（1）部会の状況報告（通常部会・特別部会） >

（岩協会長）

議事の（2）部会の報告でございます。各部会長より簡潔に報告していただきたいと思

います。それでは第1部会の笠原部会長、お願いいたします。

(笠原第1部会長)

第1部会の会議は、1月12日火曜日、午後1時30分から3時15分まで、区役所303会議室で行いました。出席者はご覧のとおりです。議事の1つ目、除雪について、建設課より今年度の除雪体制について説明がありました。委員から出された意見等は下記のとおりですが、一番下に書いてある意見、私道の除雪を合併地域では市が行なっているところもあると聞いた。本来であれば自治会などで除雪すべき道路であり、これを変えることは難しいと思うが、とありますが、発言した方に確認したところ、合併時の特例などにより除雪されている道路について、この取り決めを変えるのは難しいと思うが、ということでしたので、訂正をお願いいたします。ほかの意見等は後でお読みいただきたいと思います。

2つ目、公開授業について、11月30日に実施した公開授業のアンケートについて、事務局から説明がありました。委員から出された意見等は下記のとおりであります。これも後で皆さん、お読みいただきたいと思います。また来年度の実施校について、事前に事務局で確認した実施可能校の情報をもとに検討しました。今後は学校に確認を取り、正式に実施校を決定することとしました。

次の開催日程は、2月9日火曜日午後1時30分から西区役所303会議室にて、議題は自治協議提案事業 事業評価についてです。

(岩脇会長)

ありがとうございました。只今の笠原部会長の報告について、ご意見、ご質問等ございませんか。ご意見がないということですので、第2部会の郷部会長、お願いいたします。

(郷第2部会長)

第2部会の報告をさせていただきます。開催日時は1月18日午後3時から午後4時40分まで、区役所3階303会議室で行いました。議事の1つ目、平成28年度の高齢化をテーマにした講演会企画についてということで、講師の選定を中心に行う話し合いになりましたが、講演会だけではなく、先進自治体によるパネルディスカッションもどうだろうかという意見が以前から出ていましたので、区の企画として本州東日本西区サミットという名前で、政令市の西区というつながりでのパネルディスカッションの説明をしていただき、そこに私たち自治協の主催事業である高齢化をテーマにした講演会を抱き合わせる形で運営していこうということになりました。このパネルディスカッションについては、後ほど事務局から詳しく説明していただこうと思いますが、同じ政令市の区長や包括ケアシステムを担当している人たちが集まってのパネルディスカッションを一緒にやっという。まず私たち自治協の高齢者向けの講演会、そして第2部としてパネルディスカッションと

いう形で、平成28年9月上旬開催として詰めていこうということになりました。

この2つの事業を連携することで、お互いに良い効果が出るのではないかとということと、ただの高齢者向けの講演会では、もうあちこちでやっているのだから、講演会プラスパネルディスカッションにして、ほかの政令市に学ぶこともたくさんあるのではないかとという意見が出されました。そして肝心要の高齢化をテーマにした講演会の講師ですが、そういうことならば、1部と2部連携した形でお話しできる講師がいいのではないかとということで、3名ほど候補者が出ていますが、これは次回の部会でしっかりと絞り込みをするということで、話が終わりました。

2番目、西区における公民館事業についてということで、公民館事業について、地域と連携していく上で、公民館の社会教育の拠点としての役割や公民館の認識を深めようという学習会を開きました。坂井輪地区公民館長より、公民館は学び、つどい、そして人づくり、地域づくりをやっていく場所だというお話をいただきました。委員からはいろいろな意見が出されましたが、公の地区公民館以外に古くからの歴史の中で自治公民館もあるということが分かりました。また公民館は3日以上前の申し込みがないと利用ができない、そして土曜日には現金の出し入れができないなど、少し規定や仕組みが制限され過ぎているのではないかとという意見、もう少し使いやすいようにしていただけないかとという意見が出ました。そしてまた西区には市民会館と一緒にいる公民館が黒埼と小針青山にあります。市民会館と公民館の違いが分かりにくいという意見も出されていました。

3番目としましては、3月5日に実施するスポーツ鬼ごっこの講習会、見学会についてのチラシについてと、周知を始めたということ事務局より報告いただきました。またこのスポーツ鬼ごっこをさらに普及させていくために、スポーツ鬼ごっこの愛好会の団体が結束されそうだという情報もいただきました。

今回は、2月12日金曜日午後3時からを予定しております。この日には高齢化をテーマにした講演会の講師が選定されると思っております。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。只今の説明にご意見等ございますか。

(坂井委員)

1点だけ質問です。公募委員の坂井です。今、郷部会長がおっしゃったとおり、本州東日本西区サミットという名前で、新潟市、さいたま市、横浜市、浜松市、名古屋市の5つの都市による会議が持たれるということで、その中で、趣旨の中に相互の交流人口の拡大と特産物の消費を促進し、もっと地域経済の活性化に資するというものがありまして、産業振興などにも視野を広げたものを計画しているのかなと理解したのですが、それでよろしいでしょうか。

(岩協会長)

それでは、サミットについて事務局から報告をお願いいたします。区長でよろしいですか。ではお願いいたします。

(眞島区長)

今の質問も含めてお答えしたいと思います。先ほど郷部会長から概略の説明がありましたので、少し重なって説明するかもしれませんがよろしくお願いいたします。

もともと私が区長に就任してから検討してきたことなのですが、区民生活に直結した課題で、各区役所が共通して持っている課題があるのではないかとということで、そのことにつきまして先進地の政令市と情報交換をして、情報を共有してさらに検討していく。そして今ほど質問がありました。例えば食べ物ですとか、物産の展示をしたり、PRしたり、そういうことも併せてやると、西区の魅力が内外に伝わっていくのではないかとということを検討してきました。そこにちょうど11月6日の第2部会で、講演会だけではなく先進自治体などによるパネルディスカッションを検討してみてはどうかというお話をいただきましたので、併せて検討させていただきました。

全国の政令市の中に、同じ「西区」は20市中12市あります。全部の西区に声をかけるには、北海道から九州まであるものですから、少しそこは難しいなということで、近いさいたまや横浜、そして浜松、名古屋に声かけをさせていただきました。今のところ各区長に声をかけたところ、趣旨には賛同していただいている状況であります。詳しいところはこれから詰めるところであります。

それから住民の代表の方からも、できましたら新潟市の西区に集まっていたきまして、地域包括ケアシステムの構築における、区民の皆さんとの協働による支え合いのしくみづくりということで、区民の方々がどんな活動をしているかという、その情報交換をしたらどうかと提案いたしております。具体的にいいますと、例年開かれています自治協提案事業であります高齢化をテーマにした講演会と同時に開催しまして、広く区民の方から聞いていただいて、先進政令市の取り組みを紹介して、さらに理解を深めていただく機会にしていければと考えております。

ただ、今声をかけている段階で、具体的に本当に参加してくれるかどうかはこれからのになりますので、参加自治体の決定や、会議の内容をもう少し詰めた段階で、皆さんにまた説明をしていきたいと思うのですが、第2部会を通じて、適宜ご説明していきたいと考えております。なお、西区サミットという名称につきましては、今のところ仮称ということでお願いしたいと思います。これも提案をしているところでありますが、5つの市で、持ち回りで毎年それぞれの市で開催したらどうかということで、持ち回り開催を提案しているところであります。今年といいますか、来年度になりますけれど、今年には新潟市で開催したいと考えておりますので、どうぞ、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは只今の区長のご説明に、ご質問、またご意見等ございますか。この案件についてはまだ正式に詰まっております。第2部会に区役所からこういう提案があって、講演会と一緒にできないかということでございますので、まだ細かい点までは煮詰まっていないということの一つご了解の上、何かご意見、ご質問等がありましたらお願いしたいと思います。

(三富委員)

公募委員の三富でございます。先ほど区長がおっしゃった中に、地域包括ケアシステムとありましたが、地域包括支援センターというのがあるのですけれど、それと一緒に頑張って取り組まれるのでしょうか。

(眞島区長)

地域包括ケアシステムを進めていくときに、新潟市は地域の茶の間というものを住民の方と一緒に進めているところではありますが、そういう住民の人と、皆さんと一緒に支え合いの仕組みづくりを進めている事例をお互いの市で紹介したらどうかということがあります。答えになりましたでしょうか。

(三富委員)

今区で進めております地域包括ケアシステムというのがあります。これとは別にセンターがありますよね。それと関連することなのですか。つまりその人たちも一緒になって、今みたいな、講演会の講師を選ぶことについても、システムという話があるのですけれど、それと関係はありますか。

包括支援センターには一般住民も関わっていますので、この言葉がダブっているような気がするのです。

(岩協会長)

少しいいですか。私はこういうふうに理解しているのですけれど、三富委員はセンターがクエスチョンなのですよね。第2部会は福祉関係担当部会でございますから、当然福祉関係の講演会となると、今話題になっております地域包括ケアシステムについてテーマになると。それとは別に、各市の西区の方々と情報交換をしたいということで区長は説明されたと思います。

地域包括支援センターと、今の講演会とサミット関係は分けて考えていただけますか。内容的には連携してやると効果があるということで、第2部会では一緒をお願いしますということでした。地域包括支援センターとは別の話でございます。

(三富委員)

単純にいわれると、そういうふうには誤解するというのを含めてお聞きしたのです。

(岩協会長)

はい、ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。なければ、第3部会の塩川部会長、お願いいたします。

(塩川第3部会長)

報告申し上げます。第3部会は、平成28年1月8日金曜日、午後3時から4時55分まで西区役所3階303会議室で行いました。出席者は記載のとおりでございます。議事の1つ目、平成28年度自治協議会提案事業である西区の特産物・観光カレンダー事業について、全体のテーマを、今年度と同じく西区の魅力全般を対象とすることとしました。主な構成は今年度と同じく写真とキャラクターの組み合わせとしました。キャラクターについては既存キャラクター12体を継続して活かすこととし、新たな魅力を紹介する場合は既存キャラクターのアレンジまたは新規制作を検討し、対応することといたしました。写真の収集方法については、市民参加型の公募による募集と、今年度と同じく委員による収集及び新潟観光コンベンション協会等所有の写真使用を併用することといたしました。

写真公募については次の事項を基本的内容として、準備を進めることといたしました。コンテスト形式で行わない。応募資格不問。広報は、自治協広報紙3月31日号による予告広報、区だより、チラシの施設掲示、区ホームページ、区フェイスブックで行う。募集期間は4月中旬より6月中旬までの約2カ月間とし、写真説明コメントやメッセージを応募時に添付してもらうこととしました。

情報発信の充実を図るため、イベントを紹介する場合は、イベント主催者へのコメント作成依頼も行うこととしました。事業の実施にあたっては、ワーキングチームを置くこととし、今年度と同じく、永吉委員、岩協委員、中原委員、佐野委員、小林満男委員の5名に新たに浅妻委員を加えて検討することといたしました。委員から出された意見は下記のとおりでございます。これは皆さん、後ほど読んでいただきたいと思います。

2つ目、その他では、西区の拠点商業活性化推進事業計画にある具体的な取組内容の進捗について確認を行いました。委員から出された主な意見等は下記のとおりです。後ほど読んでいただきたいと思います。部会として、区内商店街の現状を把握するため、早期に視察などを企画することとしました。

次回開催日程は、協議の結果、平成28年2月上旬としましたが、3日に決定しました。議題は、2017西区の観光・特産物カレンダー事業についてです。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。第3部会の報告について、何かご意見、ご質問等はございま

せんか。坂井委員、お願いします。

(坂井委員)

公募委員の坂井です。二点申し上げます。

一点目は今ほど説明のあった商店街の活性化についてであります。ここで進行状況について確認を行うという記載がありますが、私が申し上げたことなので少し補足します。この活性化計画では40の事業が挙げられています。平成27年度は10事業を実施するのですが、一つを除いて従前から行っていた事業の継続ということでもあります。来年度から実施するものがどんなふうにも今議論されているのかということ、少しお伺いしたわけがあります。いくつか挙げますと、顧客満足度向上、接客技術の向上を目指す事業ということで、巻の商店街の方を呼んで、講習会を計画しようと思ったのだけれど、参加希望者がなく中止になった。西区おいしいもの三昧というのは、黒埼で茶豆まつりを今年度行ったのですけれど、内野は駅のロータリーの改設に合わせてまだ先になる。それから鶴友会の弓道場で人間将棋をしようと言ったのだけれど、樋木酒造の弓道場がなくなってしまったので中止。それから歩いてこいでふれあい事業というのは、電車通りを歩くというもので、それが商店街の活性化になるかどうかはわかりませんが、これは道路完成が遅れているので中止。それからのぼり・暖簾等設置というのは、うちの暖簾会があるので、前倒しでそれを実施して市が支援したということです。つまり新しい事業というのはなかなか成功しない。難しいのですね。商店の活性化というのは。

商店街の活性化には7つのステップがあるといわれています。1つ目は現状把握。事業者、消費者の生の声などのデータ収集。2つ目は商店街に求められるもの、商店街の理念の明確化。3つ目が将来ビジョンの確立と共有。4つ目がビジョン達成に立ちはだかる問題の明確化。5つ目はこの問題が解決されるための戦略の確立。6つ目がその戦略に基づいた様々な事業の計画。7つ目が実践。

こういうことでいうと、やはり事業者自身の意見や状況が十分反映できなかったかなと。ただ、今の事業者の状況を見ると、何度も申し上げましたけれど、今の商店街の方たちだけではそのエネルギーがなかなか出てこないと思っています。だから大学の教員とか学生が参加して、自らがお店を出して、日本中から集まる学生の力で商店街を元気にしていくということを併せてやらないと、なかなか難しいのではないかなと。そういう点では新年度の事業に私は期待を持っているところであります。

もう一つ、バス交通の問題でのご報告です。12月のこの会議で、小針中学校前通りの大型バスの通行で、家が震度1ぐらい揺れる、子どもの通学が危ないという声が出ていて、新潟交通に申し上げたというお話をしました。新潟交通や区役所への連絡をしたり、交通の方に来てもらって揺れを体験してもらったり、隣近所の自治会と声を合わせまして、いろいろ運動をしました。先日回答が来ました。結論は現在、平日20往復、40回の通行しているものを、朝・夕通勤時に2回、昼に1回、5往復10回の通行とし、そのバスも将来的

には小型バスにしていくということでありました。大堀を通る新潟駅までの直通バスは、今、朝4便しかないのですけれど、昼間も2本、バスを通すということでもあります。2月末に発表して、3月26日から行うそうでもあります。BRT導入に伴って、市内のバス通行に大きな変更がありました。私の知っている限り、新たなバスシステム導入と合わせて、バスの路線をこんなに変えたのは今までないと思っています。そういう点でいろいろな不都合が出ているので、できるだけ早く声を上げて、直せるものは直していくということが大事ではないかと思っています。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。

先般西区のコミ協会長会議がございました。その席で新潟大学の方が来られまして、来年度から、学生20名だったと記憶しておりますけれど、各コミ協にいろいろな調査・研究など、派遣をして勉強したいと。どういうことかという、地域の課題について、生産、工業など、多岐にわたるものについて、地域の方々に協力していただきたいので、ご希望があったらというお話しでございました。坂井委員が言いましたとおり、西区には相当数の学生がおりますので、そういった人たちのご意見を聞かないという手はないと思います。これからますますそういった人たちの協力が得られるような時代になったということで、一応皆さんにご紹介しておきたいと思います。ほかに何か質問等ございませんか。なければ、プロジェクトチーム1の大谷部会長、お願いいたします。

(大谷一男プロジェクトチーム1部会長)

それではプロジェクトチーム1の会議概要を報告いたします。1月15日午後3時から会議をいたしまして、第16号の振り返りを行いました。委員からはそれぞれ意見を出していただいたわけですが、特にカレンダー特集については、非常に区民の反応が気になっておりましたので、クロスワードパズルの回答と一緒に寄せられた感想などを中心に探ってみますと、大変好評だという報告をいただいて安心したところでございます。

それから従来いろいろと広報紙の色づかいが濃いなど、様々な状況があったのですが、今回については優しい色づかいでまとまってよかったという意見がございました。同時に広報紙を見て、カレンダーを取りに来た方も見受けられたということで、概ねカレンダーははけたのではないかと考えております。それから1面の写真ですが、皆さん声をかけていただいたということで、区民の皆さんから親近感を持っていただいたのではないかと、こんな振り返りを行いました。

引き続き3月31日発行の第17号の企画について検討いたしました。結果、1面については、委員の対談方式で自治協議会の役割、活動について紹介するという内容でございます。それから2面、3面については各部会の1年間を振り返ると同時に、新たな課題を探るために、各部会長等へのインタビューを試みることにいたしました。自治協議会の運営

や事業内容を区民から知っていただくという狙いがございます。

それから4面については、広報紙のホームページへ接続ができるQRコードを掲載するということを決めてございます。それから先ほど説明がありました、第3部会で行うカレンダーの写真公募についてお知らせを載せる。それからクロスワードパズルの回答文を載せると同時に、プレゼントの贈呈者を決める抽選会を、2月の本会終了後に行います。とっておきの私の一枚については、数点応募がございますので、一枚選んで掲載すると決めて、目下準備を始めたところでございます。次回は2月5日午後1時30分からの開催でございます。

それから、今日皆様方に広報紙をお届けしてございますけれど、中ほどに広報紙への意見を求める依頼文をつけておきましたので、皆さん方のご意見、それから地域の皆さん方がどういう声を発しておられるのか、その点をお聞かせいただければと思っております。ご提出いただければ、貴重な意見として拝聴してまいりたいと思っております。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございます。ご質問、ご意見等はございませんか。

今回配付した東区自治協議会広報紙の最終ページに、「そうなんだ！東区について知るクイズ」なんてありますけれど、たぶんうちのを少し参考にさせていただいたのではないかなと思います。これは東区の特産品を当てはめるようになっていきますよね。これもなかなかユニークだなと思っておりますので、また大谷部会長、地域に密接したようなクイズを作っていただければありがたいと思っております。8区の中でトップを走っております。ほかの区はどうやって広報紙を作ろうとかか悩んでいるそうでございますので、これからもよろしくお願いいたしたいと思っております。はい、渡邊委員。

(渡邊正友委員)

実は私どもの自治会からこんな意見があったのです。どんな意見かといいますと、これを、回覧するときに綴じて回覧するのですが、見るときに裏側が正面にくるので、綴じたときに正面を向く綴じ方だとすごく見やすい。回覧しやすいのだけれどという意見が出ました。

(大谷一男プロジェクトチーム1部会長)

それについては、新年度の第18号から改めることとしています。

(渡邊正友委員)

分かりました。ありがとうございます。

(岩協会長)

ありがとうございます。これは前回、そういうご報告がありましたね。来年度からということでございます。ほかに何かご質問、ご意見等ございませんか。

それではプロジェクトチーム2に移りたいと思います。今日は永吉委員が少し遅れておりますので、副部会長の渡邊さん、お願いいたします。

(渡邊正友プロジェクトチーム2副部会長)

渡邊でございます。第11回の会議を1月15日にいたしました。出席者は記載のとおりでございます。主な議題は2点ございまして、1つ目は第3回西区アートフェスティバルの事業評価についてでした。この内容について、いろいろ検討を行ったということでございます。最終確認を次回の部会で行うこととしました。

2つ目は、平成28年度自治協議会提案事業につきまして、話し合いをいたしました。まず、ホールでの音楽部分につきましては、今年度よりも早く検討や準備ができるようにスケジュールを組もうではないかということになりました。それから黒崎市民会館での販売行為について報告したと思うのですが、これにつきましては、条例によりまして制限されているという説明がございまして、アート展示につきましては、販売を伴う展示の企画を展開したのですが、これは見直しをしましょうということになりました。見直した内容につきまして、下に書いてあるとおりでございます。

まず地元で大学があるので、新潟大学と連携して野外彫刻を展示する。会場に芝生の広場、非常に広い所がありまして、その空間を利用させてもらってはどうか。これは可能なようですので、そういうやり方をしたらどうかということでもございました。

それから従来から話が出ていましたように、西区の職人による工芸作品。これは1階のホワイエでやろうではないかと。それから平成27年度に行われた小中学生のポスター、西区カレンダーの原画、あるいは写真を1階のロビーに展示してはどうかということもございます。

収集方法につきましては、案でございますけれど、アートフェスティバルとして展示経験がないということもございまして、展示内容や数、出品団体等を絞った形で企画してはどうかということが話されました。また音楽につきましては、出演候補団体へ早期に打診をいたしまして、別のコンクールの日程を把握し、出演者の確保ができるように配慮しようではないかという話し合いがされました。

委員からそのほかにもいろいろと意見が出ました。チラシによるイベント周知は、自治会の回覧、学校配布としつつ、区だよりでの周知を行うことでより効果が上るよう、媒体に応じて時期をずらすなどの工夫をした方がよいのではないかという意見も出されました。こういった内容で会議は終了し、次回は3月の中旬に予定をしているということもでございます。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。皆さん方、ご意見、ご質問等ございませんか。新たに新潟大学と連携した野外彫刻を企画しておられるということです。一生懸命やって、頑張っているなど思ってもらえるよう一つお願いしたいと思います。はい、大谷委員、お願いします。

(大谷勇委員)

大谷です。1ページ目に、音楽等について出演候補団体へ早期に打診し、別のコンクールの日程把握など、出演が確保できるよう配慮すると書いてあるのですが、日にちは今年の3月の会議で決まるのか、あるいはもっと後になるのか少しお聞かせ願えればと思います。といいますのは、私どもコミ協でも事業計画がありますので、情報として少し早めに分かればありがたいということでお聞きしました。

(渡邊正友プロジェクトチーム2副会長)

一応前回あたりから、日程は大体の案なのですけれど、昨年やったような時期の前後として進めております。ただ、会館の空き状況などの確認がございますので、3月の本会のときにはお知らせできると思うのですが、よろしいですか。

(岩協会長)

ありがとうございました。市民会館の仮押え等、はっきりした時点で報告をお願いしたいと思います。質問、意見がなければ、報告事項に移りたいと思います。

< 3 報告事項 (1) 西区支え合いのしくみづくり会議 (協議体) の結果について >

(岩協会長)

(1) 西区支え合いのしくみづくり会議 (協議体) の結果について、郷委員、お願いいたします。

(郷委員)

では西区支え合いしくみづくり会議についてご報告させていただきます。今まで、会議は3回ありました。第1回目は11月17日に、西区支え合いのしくみづくり会議をするための準備会という形で開催されまして、この場では、まず西区の生活支援に関する課題について説明をしていただき、この課題を解決するためにどんな団体に加わっていただいたらうまく支え合いのしくみができるかという話し合いをしました。準備会には自治協から私と大谷委員。あとは民生委員児童委員協議会、老人クラブ、シルバー人材センター、西区社協、各包括支援センター等が参加していましたが、そのほかに例えば生協や民間の新聞屋いったところが支え合いをしているという話で、そんなところもいいのではないかというご紹介等がありました。

そして第1回の西区支え合いのしくみづくり会議が、12月8日に行われました。準備会を受けてメンバーは、今日の資料3の最後に付いていますが、この方々が委員として召集されました。そして第1回目では、西区の支え合いのしくみづくりをするために、行政説明ということで、新潟市の地域包括ケア推進課の佐久間課長、そして新潟市支え合いのしくみづくりアドバイザーの河田珪子さんのご講話を聞かせていただきました。

第2回の支え合いのしくみづくり会議は、1月18日に行われまして、もう一度西区の概要について健康福祉課より説明があり、この会では西区の支え合いのしくみづくりの会議の事務局を選出しましょうということで、事務局として区の地域特性や課題に応じた地域福祉活動を展開していく。そしていろいろなケースに関するコミュニティソーシャルワーク活動を実践していくということで、西区社会福祉協議会を事務局に選出することに決まりました。

そして、生活支援コーディネーターも決定しなければだめなのですが、生活支援コーディネーターは事務局と一体となった活動がやりやすいのではないかとということで、西区社協から選任していただくということになりました。まだ今日の時点ではっきりと個人名は挙がってきておりません。これで第1層の西区支え合いのしくみづくり協議会というものができまして、次に各地域で2層の支え合いしくみづくり会議を行わなければなりません。その中で必要とされている構成員について、どんな団体が必要かという意見交換を行い、今後は第2層の支え合いしくみづくり会議を立ち上げていくべき事務局である社会福祉協議会と区役所が中心となって動き、働きかけるということになりました。なので、第1層の支え合いしくみづくり会議は2回で終了となりました。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。只今の報告について、ご意見、ご質問等ございませんか。

これは新たに始まった制度なので、まだまだ先が長い話ですよ。やっとな準備会が終わったと。これから本格的な作業に入るということでよろしいですか。

(郷委員)

第1層の準備会と支え合いのしくみづくり会議が終わったので、今度は第2層、生活圏域ごとの会議が行われていくこととなります。

(岩協会長)

分かりました。ほかにご質問等ございませんか。なければ、次にすすみます。

< 3 報告事項(2) 水と土の芸術祭 2015 実施報告について >

(岩協会長)

報告事項(2) 水と土の芸術祭 2015 実施報告について、担当課よりご報告をお願いいた

します。

(塚原水と土の文化推進課長)

皆様、こんにちは。私、水と土の文化推進課長の塚原と申します。本日は貴重なお時間いただきまして、誠にありがとうございます。昨年実施いたしました水と土の芸術祭 2015、こちらの実施報告ということでお邪魔をさせていただいております。本日はぜひ皆様から忌憚のないご感想、ご意見をいただいて帰りたいと思っておりますので、どうぞご協力をよろしく願いいたします。事前にお手元に配付いたしました資料は、資料4です。それから資料番号は付けてございませんけれど、芸術祭の事業実施報告書。少し分厚い資料になってございます。こちらの2種類を配付させていただきました。事業実施報告書は分厚くなっておりまして、全 87 ページということで、大変情報量が多くなっておりますので、本日は要点を抽出いたしました資料4に基づきまして概要について説明させていただきたいと思っております。なお、資料4の中には【本冊P2】【本冊P3】などと書いてございますけれども、これは分厚い報告書の掲載ページとなってございますので、ご承知おきいただきたいと思っております。

では、1番、会期でございますが、記載のとおり過去の芸術祭の会期の約半分でございます、87日間で開催をいたしました。2番の会場につきましては、佐潟をはじめとした新潟を代表する4つの潟を中心に市内各所で展開をいたしました。3番、主な事業内容でございますが、(1)から(5)までで、これが芸術祭の事業を構成いたします5本柱でございますが、これについて説明をまいります。

まず1本目の柱が(1)市民プロジェクトです。これは市民の皆様から企画運営をしていただく地域の魅力を発信する事業に対しまして、支援を行ったものでございます。市内全域で109件の多彩なプロジェクトが展開されました。このうち、過去の芸術祭でつながりのできましたアーティストを招へいするもので、アートプロジェクトとしても位置付けたものが11件に上るなど、大変大きな盛り上がりを見せていただいたところでございます。

2本目の柱でございます。(2)こどもプロジェクトです。次代を担います子どもたちの個性や創造性、心豊かな人間性を育むことを目的に、記載の事業を実施いたしました。①といたしましてワークショップ。これはアートだけではなく、踊りや音楽、食など、多彩なプログラムを30回実施しましたほか、6つのプログラムは学校への出前授業、いわゆるアウトリーチという形で実施したところでございます。また②みずつち給食では、芸術祭、それから東アジア文化都市の開催にちなみまして、オリジナルメニューを170校において提供いたしました。また③みずつち合宿におきましては、東日本大震災の被災地の子どもたちと新潟市の子どもたちが交流いたします2泊3日の合宿を2回実施したところでございます。

3本目の柱は(3)「アートプロジェクト」です。今回の芸術祭では56作家によります69の作品を展開いたしました。このうち、パフォーマンス部門においては、鑑賞型と参加型で7つのプログラムを実施いたしました。

4本目の柱が（４）シンポジウムでございます。自然との共生をテーマにシンポジウムを4回実施したほか、芸術祭の参加作家や有識者との相談会を5回実施いたしました。

最後に、5本目の柱となります（５）食・おもてなしでございます。まず①のカフェのうち、「ア．渦るカフェ」ですけれど、こちらはキッチンカーと屋外アート作品が形を変えながら4つの渦を3週間ごとに移動いたしまして、それぞれの地域における食材を活かしたオリジナルランチや、飲み物などを提供いたしました。また食の交流会と題しまして、地域ごとにテーマを変えながら食材の生産者と料理人、そしてお客さまをつなげます食の交流会イベントを5回実施したところでございます。

次に「イ．渦るカフェ購買部」では、ベースキャンプとして使いました旧二葉中学校におきまして、お米や東アジアをテーマに、軽食や飲み物などを提供いたしました。

②地域のおもてなしにつきましては、メインフィールドである4つの渦と、その周辺におきまして、地域の皆様から渦舟の乗船体験やガイドツアーなど、10のプロジェクトを実施いただきました。以上が芸術祭の主な事業内容でございます。

1枚おめくりいただきまして、2ページをご覧いただきたいと思います。4番、来場者数でございます。来場者の延べ人数は表の右側に記載のとおり、約77万5,000人となりました。今回は一部の有料講演を除きまして、観覧料を無料としたことから、気軽に何度でも参加いただけた結果ではないかと考えています。次に5番、決算見込みでございます。今回の芸術祭の総事業費は約2億5,500万円となり、このうち市の負担分は約1億6,300万円となる見込みでございます。次に6番、主なアンケート結果でございます。来場者の居住地は県外の方が32.4%、満足度につきましては、「満足」「ほぼ満足」が60.5%という結果になっております。

以上が芸術祭全体の実施概要でございますが7番からの記載につきましては、主要事業のうち、西区で実施されました事業について報告書の本冊から抽出した情報が4ページまで続いておりますので、後ほどご覧いただければと思います。なお、今後はこの実施報告に加えまして、各種アンケートの分析結果、それから経済波及効果、各界からのご意見などをとりまとめまして、総括報告書を作成してまいります。以上で水と土の芸術祭2015の事業実施報告を終わりますが、本日追加資料ということで、これから当課で実施いたします「渦シンポジウム」、それから芸術祭を振り返るという意味での3回連続の市民フォーラムのチラシも入れさせていただいたところでございます。渦シンポジウムはだいぶ人気がございますのでぜひお申込みいただければと思います。以上、概略で申し訳ございませんが、報告を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

（岩協会長）

ありがとうございました。只今の事務局の説明について、ご意見、ご質問等ございませんか。

少し私からお聞きしてよろしいですか。費用対効果ということで、新潟市内へ大体の推計でどのくらいのお金が落ちましたか。

(塚原水と土の文化推進課長)

経済波及効果ということで、これについては今、経済社会リサーチセンターに計算の委託をして、報告書が間もなく出てくるころなのですけれど、我々の見込みとしては、前回の芸術祭の経済効果が19億5,000万円ほどありましたので、同程度の実績が出てきてほしいと思っておりますが、今回の数字についてはまだ報告書が来ていないという状態でございます。

(岩脇会長)

ありがとうございました。大谷委員、どうぞ。

(大谷勇委員)

大谷です。市民プロジェクトが109件あったということではありますが、2015年の予算では2億7,000万円で、決算は2億5,548万8,804円ということですが、このうち市民プロジェクトに対する割合は大体どの程度になっているのかなど。

(塚原水と土の文化推進課長)

ありがとうございます。市民プロジェクトの決算見込額ですけれど、分厚い実施報告書、こちらの84ページをお開きいただきたいと思っております。84ページに収支の決算見込みの表を付けさせていただいております。下の表が支出でございまして、1行目が市民プロジェクトの項目になっております。決算見込額Bのところをご覧くださいなのですが、約4,447万円が市民プロジェクトの決算見込になっております。

(大谷勇委員)

アートプロジェクトで8,500万円、市民プロジェクトで4,400万円ということですが、アートプロジェクトには外国の芸術家からいろいろなアプローチをしてもらっているように見受けられますけれど、そういうことも必要かもしれませんけれど、県内の芸術家はどのくらいおられるのですか。資料がいろいろあるのでしょうか。少し分厚くて見えないうちというよりも、見なかった部分もあって大変申し訳ないのですけれど、よろしく願います。

(塚原水と土の文化推進課長)

ありがとうございます。ではまた分厚い資料ですけれど、18ページをご覧くださいと思います。18ページにアートプロジェクトという記載がございまして、表が2つありま

すけれど、上が作家の内訳になってございます。県内作家は、アート作品については4人の方から出展いただいております。海外につきましては、今回東アジア文化都市のメイン事業という位置付けでございますので、中国、韓国、それから台湾をはじめとした海外の作家から出展いただいたところでございます。

(大谷勇委員)

今後の方向としては、やはり外国の方をある程度招へいするということになるのでしょうか。県内あるいは国内の芸術家をある程度中心にして考えていくのか少しお聞きしたいです。

(塚原水と土の文化推進課長)

ありがとうございます。これまで3回の芸術祭につきましては、国際芸術祭ということので、集客力のある質の高い作品を期待して、各界のディレクターから作家を選んでいただいているわけですが、次の開催については、今回の芸術祭の総括を行った上で、実施の有無について判断していく状況ですので、今ここで申し上げることはできませんけれど、次回実施ということになれば、企画内容も含めて総合ディレクターを中心に戦略を立てていく形になろうかと思えます。

(大谷勇委員)

ありがとうございました。

(岩協会長)

広瀬委員、お願いいたします。

(広瀬委員)

公募委員の広瀬です。ずいぶんたくさんの方の来場があったようなのですが、アンケートの回収が1,665件ということで、これはベースキャンプだけでアンケートを取られたのでしょうか。

(塚原水と土の文化推進課長)

ありがとうございます。この1,665件というのはベースキャンプだけで取っておりますけれど、例えばシンポジウムや大友さんが演奏会をやったときは、別途でアンケートを取ってございます。

(広瀬委員)

では別途であるのですね。

何かこれだけでは少しアンケートの結果としては物足りないなと思ったので。それと私の友人も県外からわざわざ来ました。大地の芸術祭と重なった部分ありましたよね、期間的に。あちらへ行きまして、それから新潟へ来たという方が、ずいぶんいらっしゃるのではないかと思います。その友人は1週間の予定で、こっちにもっといるはずだったのに、津南があんまりおもしろくて、あっちにいっぱいいたということで、こちらは2日間だったのですけれど、それでも回ったのです。私も案内しながら回ったのですけれど、全部回っているわけじゃないのですけれど、やはりベースキャンプというのはすごく大事なわけですよね。そういう意味ではもう少し深めた方がいいのではないかとというのが感想だったのです。ベースキャンプって一体何なんだろう、置き方としてどうなのかということと、私は鳥屋野潟を回ったのですけれど、非常に広いのと私たちが手元にあまりいい資料を持っていなかったというのが大きかったのだと思うのですけれど、自家用車で行く場合にもう少し分かりやすい表示があった方がいいのではないかと考えたので言わせていただきました。

(岩脇会長)

ありがとうございます。では三富委員、お願いいたします。

(三富委員)

三富でございます。水と土の芸術祭は、2009年、2012年、2015年と3回やっているようなのですけれど、1回目は4億7,000万円でやっておりますよね。今回は内容としてはよく分からないのですけれど、2億7,000万円。実際に使ったのは2億5,548万8,804円と書いてあります。市の負担金は1億6,300万円になっていますよね。この残りはあとのページを見ますと、文化庁からの補助金となっていますよね。それはそれでいいのですけれど、1回目は4億7,000万円だったわけですよね。今回2億7,000万円になった理由はあるのですか。

例えば補助金がもらえなくなったので、単純に考えれば市の負担が多くなるということですか。2億7,000万円をかける理由がよく分からないということと、この西区について、経済効果というのかな。77万5,000人のうち、各潟にどれだけの人数が集まったかという表はできないのでしょうか。

(塚原水と土の文化推進課長)

ありがとうございます。予算額が1回目から比べて減っているのは、補助金がいただけなくなったからということでは決してございませんで、1回目の芸術祭が終わった後の総括の際に、少しお金をかけ過ぎではないかという議論があったものですから、事業規模を2回目から見直ししたところでございます。

それから潟の来場者数につきましては、各区の主管課から推計をいただいておりますけ

れど、西区の佐潟におきましては、大体前年度比で139%の増だったと聞いております。鳥屋野潟、佐潟、上堰潟、福島潟、全体の平均では130%ほどという結果になってございます。

(三富委員)

各潟での統計は取っていないのですか。これだけ違う所でしょう。それをお聞きしたいのです。そうしないと、それぞれの区でどういう楽しみがあったか、または予算的にどうだったか、お金をかけていたわけですから、各区が負担しているわけでしょう。その辺、やはり区民としては知りたいと思うのです。

(塚原水と土の文化推進課長)

ありがとうございます。今、例えば西区に設置したアート作品ごとの来客数というのはまとまった資料がないので、この場で即答できないのですが、これから総括報告をしていく中では、そういったものも考慮して作っていきたいと思います。ありがとうございます。

(岩脇会長)

まだ総括していないということでございますので、また資料ができれば、参考にいただければありがたいと思います。せっかくの機会でございます。佐潟の中原委員。何かご意見、ご要望あったらどうぞ。

(中原委員)

確か東京のアトリエ・ワン、あそこの制作ボランティアで何日かお手伝いさせていただいたのですが、場所が分かりにくいというのと、建物を建てるのにあそこしか場所が取れなかったというのもあったのですが、駐車場がなかったので、湿地センターから歩いて行くのにだいぶ距離があると。暑い時期だったので、そこまで歩いて10分～15分ぐらい、また戻りにそれだけ歩いてくださいというのが、去年は暑い日が続いていたので、少し厳しかったのかなと思います。あとは佐潟に公共交通機関が通っていないので、せめてその期間だけでも巡回バスか何かを通していただければ、内野駅から佐潟経由赤塚行きとか、そのぐらいの公共機関をマイクロの巡回バスでもよかったです、あった方がもっと来場者が増えたんじゃないかと思います。

(塚原水と土の文化推進課長)

ありがとうございます。場所が分かりづらかったというのは、先ほどご質問をいただいて、答えることを失念しておりましたけれど、メインのルートからのご案内も少し不足していた感は私も実感しているので、それを見直していきたいと思っておりますし、あとは作品を展示するのに、今回潟をメインフィールドにしましたが、潟の管理をするのは国になります。そこに作品を一定期間設置する、ご案内する看板を設置する、垂れ幕をかける、

分かりやすく目立つようにするというのは当然私どもも考えるのですけれど、許認可の大きなハードルがありまして、今回の準備期間の中では、そこが十分達成できなかったのが、私どもも反省しているところでございます。

公共交通機関については、私どもも何とかしようということで、マイカーをお持ちでない方も気軽に来られるようにということで、経費の関係で土日のみの運行になりましたけれど、ガイドブックをお持ちの方は無料で古町発西方面、北方面に行くバスを走らせて、ガイド付きの半日ツアーを毎週末に実施したところでございます。あとはガイドブックに越後赤塚駅からのコミュニティバスですとか、レンタサイクルの方法なども併せて記載させていただいていたところですよ。

(中原委員)

バスは、平日は通勤通学の方がいらっしゃるので整備しているのですけれど、土日は走っていないのです。そうすると越後赤塚駅へ降りても、佐潟水鳥・湿地センターまで20分から30分かかるので、できれば土日に別の交通機関があればなということですよ。平日であれば、それでも朝2便か3便で、お昼に1～2便。夕方というか暗くなってからですけれど、そこでも2～3便ぐらいしかコミュニティバスは走っていない。土日はまるっきり走っていないのでそれを考えてもらいたかったです。

(岩脇会長)

ありがとうございました。次回開催されるときは、意見を参考にして企画をお願いしたい。では高木委員、お願いいたします。時間もございますので、これを最後に一つお願いしたいと思います。

(高木委員)

2点伺いたいと思います。広報費の件なのですけれど、6,300万円ほどかかっておりまして、広報ディレクターとして博報堂があがっておりますけれど、そちらに費用がいったのかどうかということと、地元の業者にそういう広報をお願いできなかったのか。子どもプロジェクトは1,000万円ですし、ほかのプロジェクトでも4,000万円とかで、もう少し広報のお金よりも、こっちのプロジェクトをメインにしたらいいいのかなって、少し感想として思いました。

あと交通の便が悪いと、先ほど言われましたが、バスも1日数便しか走っていませんし、まして今回のBRTでだいぶ減らされたものですから、私としてもすごく困っている面がありまして、電車を使ったりしておりますので、やはりこういうプロジェクトがあるときは、交通の便が悪いというのはすごくマイナスだと思いますので、今後考えていってほしいなというのがあります。

(塚原水と土の文化推進課長)

ありがとうございます。まず広報費の件ですけれど、今回は前回 2012 年の大きな課題の一つに広報が不足していると、戦略的な広報を実施すべきだというご意見に基づきまして、前回よりも少し力を入れて取り組んだ結果がここに出ているわけでございます。広報全体を戦略的にやるということでディレクターを付けまして、博報堂がプロポーザルの結果落としたわけですけれど、全部博報堂がこのお金を使って広報を打って終わりということではございませんで、ロゴマーク等のデザインは東京の本部のデザイナーがつくった部分もでございますけれど、地元の広報、テレビCM等、パブリシティの展開なども含めて、地元の業者も使いながら実施をしたところでございます。

今回、交通の便が悪かったということについては、集客イベントを行う上では非常にリスクな場所を選定したわけですけれど、新潟市の場合は高次な都市機能と豊かな自然環境が共存するまちということで、ほかの都市にない魅力が潟ではないかということで、都市政策研究所の研究結果として、新潟は潟をもっと売り出していくべきだというご提言をいただきましたので、今回潟を選定したということでございます。少しリスクは大きかったのですが、ご覧いただいた方には市民の方も含めて、改めて潟の良さを見直したというご意見もいただいておりますし、潟に皆さんの目が向いていた時の交通のあり方というのは一つ課題であると思っております。これからまた考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。いろいろなご意見がございましたので、次回開催の参考にさせていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

< 4 その他 >

(岩協会長)

続きましてその他でございます。まず私からご説明いたしたいと思えます。今日の配付資料の中の、区自治協議会会長会議の概要（速報版）を見ていただけますか。区自治協議会会長会議の報告でございます。私が西区を代表して出席をしております。

当日の議題は2つでございました。1つ目は、平成 28 年度区自治協議会委員研修についてでございます。研修の日程、会場は7月6日（水）、東区プラザ。これは東区役所でございます。具体的な研修概要について、次回会長会議までに再度市民協働課で検討することでございます。いろいろな研修内容が出ておりましたけれど、委員のご意見で一部修正があったということで、再度検討し直すということでございます。

2つめは区自治協議会の課題の整理ということでございます。内容といたしましては、現在の委員推薦会議の構成メンバーについて見直すことで一致しました。といわれても、皆さん方ちょっとどういうことなのかかわからないと思うのですが、任期が満了したと

ここで、委員の構成メンバー及び委員の推薦等について協議する会議でございます。これを見直すということで検討して、具体的なことについては会長会議では決定しておりませんので、3月の会議で事務局からの提案を検討して決議したい。決議したら、また皆さんに3月の自治協本会でご報告したいということでございます。

それともう一つ、選挙権が20歳以上から18歳以上に変更になりました。これに伴いまして、区自治協議会委員も18歳以上とするということでございます。これについては、今法的にはそういう形でいっておりますので、そのようにしたいということになりました。

先ほど言いましたとおり、まだ微調整のところがありますけれど、3月に行われます会長会議の結果を皆さんに説明したいと思います。

それではほかに何か皆さんからご意見、ご質問等ございませんか。なければ、事務局お願いいたします。

(事務局：堀企画係長)

恐れ入ります。少しお時間をいただきましてご連絡させていただきます。

次回会議の開催予定でございますが、お配りさせていただきましたA4一枚ものの表でございます。次回第11回本会は、2月25日木曜日午後3時から、会場は西区役所健康センター棟3階大会議室になります。こちらの会場と異なりますので、ご注意のほどお願い申し上げます。また会場変更に伴いまして、皆様のお席の調整が必要となりますので、通常より早めに会議開催の案内をさせていただきますので、出欠のご連絡も早期にご設定させていただきます。またこの会議に合わせまして、議事に先立ち市長と委員の皆様との懇談会を行うこととさせていただきます。懇談テーマにつきましては後日お知らせさせていただきます。このほかの議題等、詳細につきましては、運営会議と調整し、改めてご連絡差し上げます。

続きまして、「第8回西っ子ふゆまつり」のお知らせでございます。2月13日土曜日午前10時から、西総合スポーツセンターにおいてにいがた西っ子ふゆまつりが開催されます。当日会場ではジャンボドームや絵本の読み聞かせなど、たくさんの催しものが開催されるほか、大抽選会もございます。ぜひお子さまとご一緒に会場にお越しいただければと思います。これ以降は各種広報紙でございますので、後ほどご覧いただきますよう、よろしくお願いいたします。事務局からは以上となります。

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは平成27年度第10回西区自治協議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。